

キャラクター名
天城 緋奈

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	サラマンダー					
オプション			年齢	16	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	憎悪		初期侵食率	34%
出自	政治権力	経験	UGN:仲間の死		邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【フロストアイズ】	白兵	4r-2	6	7		マイナー《氷炎の剣》
【フロストアイズ】100%↑	白兵	4r-2	6	8		マイナー《氷炎の剣》
		0				
メジャー80%↓【タイラントフレア】	白兵	9r-2	6	7		《結合粉砕》装甲値無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ
戦闘用人格	P	N	消費
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ:サラマンダー	2	2	メジャー	□	□	□	□	
効果:	C値を-[Lv](下限値7)する。							
氷炎の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	□	
効果:	<白兵> 命中:-2 攻撃力:[Lv+6] ガード値:6 射程:至近							
フレイムタン	1	2	メジャー	視界	□	対決	□	
効果:	組み合わせた白兵攻撃の射程を視界に変更。ただし攻撃力を-[5-Lv(最大0)]する。							
クロスバースト	3	4	メジャー	□	□	対決	80%↑	
効果:	組み合わせる行う攻撃力を+[Lv×4]するが判定ダイスを-2個される。							
結合粉砕	5	4	メジャー	□	□	対決	ピュア	
効果:	組み合わせた判定のダイスを+[Lv個]装甲値無視							
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	□	
効果:	カバーリング/1メインプロセス1回 行動済みにならず、済みでも使用可能。							
氷壁	1	2	オート	至近	自身	自動	□	
効果:	G宣言時、G値を+[Lv×5]する。							
閃熱の防壁	1	4	オート	視界	単体	自動	ピュア	
効果:	対象の受けるダメージを-[Lv+2D]する。HPダメージを受ける直前に使用。自分対象不可、1R1回							
快適室温	★	□	メジャー	至近	効果参照	自動	□	
効果:	一定の空間を快適な温度に調整する。扇風機やクーラーいらす。欲しい							
不燃体	★	□	常時	至近	自身	自動	□	
効果:	通常の炎や寒さの影響を受けない。エフェクトには無効。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

玲夢の幼馴染。この子もあの事件で覚醒し生き残ったが、玲夢は神父のような人物に連れ去られるのを見たのを最後に行方不明。解決後も玲夢の家族は誰もいなくなっていた。彼女はUGNに問い詰めると"巫女"達は街を守り、その後の行方は不明、玲夢に関しても分からない。だから彼女は、玲夢を探すためにUGNへと所属し力を付けることにした。ジャーム。嫌い。殺す。FHIは...別に邪魔しないならどうでもいい。

私立聖祥(ヘブンリーイーゼス)大学付属高等学校に通っている。メイドというか、衣玖という家政婦が居る。両親が基本的に忙しいので姉のような物である。5年後...彼女16歳になり高校生。力の使い方も分かったしUGNとしての経験も積んだ。そろそろ探しに出かけた方がいいかと考えていた所で彼女と再会する。神父を恨んでいたが、玲夢から事情を聞き恨むのはやめる。がやはり苦手である。